

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://www.aomori.doyu.jp E-mail/info@aomori.doyu.jp

女性部全県見学例会



◆報告者◆

(株)KAWACHO RICE

取締役

川村 敦子 氏 (八戸市)

2019/7/23 参加 23 名



『置き換えて考える!!』



同じ食品卸業でもあり、なおかつ自社が現在計画である小売事業も含めた多角化経営をされているのでとても興味があり、経営と顧客の両方の視点で見学させて頂きました。

「お米」を軸としてギフトに特化したお店づくり。商品のデザインはもちろん、カラフルな雰囲気、心が弾み「贈りたい」と「喜んでもらいたい」という両側の感情が湧き、想いを一緒に届けてくれそうで嬉しい気持ちになりました。

お店を出すまでの経緯などを聞きながら自社に置き換えて考えてみました。

私たちは新社屋、店舗、そして地域の方に必要とされる事業内容にする事を目指しています。

早く実現できれば良いのですが、現在の仕事内容の売上減少を含め会社の余力がない事が自社の問題点。この事が進むスピードが遅い原因だと思います。しかし、自社は今現在もこれからも、すべて「整合性」をとりながら進んでいくという方針です。



そう考えると他と比べると遅く感じる事も少しずつですが私たちのスピードで進んではいるんだと再確認できました。改めて大切な思いを考える良い機会となりました。

記/(有)丸喜阿保商店 総務 阿保 泰子

5万名会員実現

会員増強決起集会 in 東京

参加感想文/(株)幾久屋 代表取締役 久慈 壽

「全同友会が会勢目標を達成し 5 万名会員実現へ」と銘打った東京での決起集会へ参加させていただきました。目標は命題通り会員拡大ですが、その為の事例を学び仲間を増やす組織力をつけることでした。

会員増強は何故必要かは今まで同じ事が言われてきていますが、最終的には地域の発展です。

同友会の理念である、良い会社をつくり、社員が幸せになるように経営者が学び続け、同じ考えを持った仲間を増やすことでその目的に近づく事になります。増強のためには各支部理事、幹事そして一会員までその目的を理解し楽しくみんなで最後まで諦めずに取り組むことが大切ですが、特にトップリーダーの「その気」になっての行動力が問われることになります。

さらに、同友会活動の充実にも取り組んでいかなければなりません。例会告知の方法や運営など一人でも多くの方に参加して頂き、退会者を出さない運営を目指して参りましょう。

集会の最後に各地区の達成目標の発表を求められ、青森県は期首目標の「465 社」会勢と報告しました。期末まで 7 か月、各地区の目標をクリアする覚悟で取り組んでいきましょう。

青森支部ガイダンス



◆報告者◆

(株)大坂組

専務取締役

大坂 将史 氏(青森市)

2019/8/20 参加 17 名

『覚悟と父の姿』

発表を聞いてとても感銘を受けました。特に心に残ったキーワードとして2つあります。
1つ目は「覚悟」です。従業員 100 名を超える大坂組のトップになるということは相当な覚悟が必要だと思います。

わずか 25 歳で将来のビジョンをはっきりと示し歩んでいる姿をみて尊敬の念を抱き、同時に自分もこうありたいと深く思いました。

2つ目は「父の姿」です。将史さんが父の弱音を吐いたところを見たことがないと聞き驚きました。辛いところを一切表に出さず働く父の姿という言葉にとっても感動しました。

私は経営者として勉強不足ですが、このお話を聞いて少し成長できた気がします。将史さんの姿勢を見習い経営者として成功できるように努力していきたいと思います。

記/ (有)松竹梅造園 渡辺芽吹



7/30 上十三支部ピア例会



8/21 八戸支部納涼例会

8/21 上十三支部移動例会



8 月理事会報告 於:事務局 2019.8.7(水)

1)報告事項

- 青森同友会の各種実施事業と全国行事について
- 第 17 期「経営指針を創る会」について
- 7 月入退会報告

2)審議事項

- 第 18 回経営研究集会について
- 今後の会員名簿発行について
- 全県を挙げての会員増強について
- 第 10 回地域活性化を担う企業展について
- 今後の全県行事の候補等について
- 各支部、委員会からの報告

会員数 386 名/入会 4 退会 1 社

【次回開催日】2019 年 9 月 4 日(水)14:00~/事務局会議室